

【最終日上程】令和3年度一般会計補正予算(第11号補正) 概要

1. 補正予算額

会計区分	補正前	今回補正	補正後
一般会計	74,351,769 千円	375,045 千円	74,726,814 千円

2. 補正内容

(1)新型コロナウイルス感染症ワクチン接種体制の継続

■事業背景

当初 9 月までを想定していた新型コロナウイルス感染症のワクチン接種について、現在の接種状況に鑑み、接種体制を 12 月まで継続するための予算を計上するもの。

なお、国からのワクチン供給が滞っており、同時に接種できる人数が従前よりも少なくなることから、集団接種会場を現状の 3 会場から 1 会場に変更し対応をおこなうもの。

■事業概要(上記を踏まえた対応)

① 接種期間

令和 3 年 12 月まで

※1 月以降の接種体制については、ワクチン供給状況等に応じて判断をおこなう

② 接種会場

集団接種会場:生活・保健センター

個別接種会場:市内クリニック等

■予算措置

事業名:新型コロナウイルスワクチン接種事業経費(健康課)

予算科目	事業費	財源		
		国庫支出金※1	繰入金※2	一般財源
ワクチン接種費用負担金	151,037 千円	151,037 千円	0 千円	0 千円
ワクチン接種体制整備 運營業務委託料	81,491 千円	81,491 千円	0 千円	0 千円
データ入力等業務委託料	14,314 千円	14,314 千円	0 千円	0 千円
駐車場警備業務委託料	12,848 千円	12,848 千円	0 千円	0 千円
その他消耗品等	14,166 千円	13,325 千円	841 千円	0 千円
(合計)	273,856 千円	273,015 千円	841 千円	0 千円

※1 新型コロナウイルスワクチン接種対策費(151,037 千円) 及び
新型コロナウイルスワクチン接種体制確保事業(121,978 千円)

※2 新型コロナウイルス感染症緊急対策特別交付金積立基金繰入金

(2)子ども関連施設等における感染者発生時のPCR検査実施体制の整備

■事業背景

新型コロナウイルスの感染が拡大し、特に子どもの感染者数が増加している状況を踏まえ、市内の子ども関連施設等においては感染が拡大しないよう防止策を講じている。このような状況下において、施設内で感染者が発生した場合の、授業・サービスの継続や感染への不安解消を目的に、園児、児童、生徒、利用者及び職員等に対しPCR検査が実施できるよう体制を整えるもの。

■事業概要(上記を踏まえた対応)

① 対象施設

小学校、中学校、幼稚園、保育園、学童クラブ、児童館、子ども家庭支援センター、発達・教育支援センター(エール) ほか

② 対象者

上記施設の利用者及び勤務している職員等のうち、以下のすべての条件に該当する者

- ・当該感染者及び行政検査対象者以外の者
- ・感染者と接触があるなど、検査の必要性が認められる者
- ・検査を希望する者

③ 実施期間

令和3年10月～12月

※令和3年9月13日より予備費を充当し事業を開始している。

■予算措置

事業名:新型コロナウイルス感染症対策事業経費(子育て課)

予算科目	事業費	財源	
		国庫支出金※1	一般財源
子ども関連施設等におけるPCR検査業務委託料	36,300千円	36,300千円	0千円
(合計)	36,300千円	36,300千円	0千円

事業名:新型コロナウイルス感染症対策事業経費(学校課)

予算科目	事業費	財源		
		国庫支出金※1	繰入金※2	一般財源
教育現場等におけるPCR検査業務委託料	43,175千円	40,614千円	2,561千円	0千円
(合計)	43,175千円	40,614千円	2,561千円	0千円

※1 新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金(事業者支援分)

※2 新型コロナウイルス感染症緊急対策特別交付金積立基金繰入金

(3)小中学校における消毒実施体制の強化

■事業背景

新型コロナウイルスの感染が拡大し、特に子どもの感染者数が増加している状況を踏まえ、市内小中学校では2学期開始日より分散登校対応をとるなど、感染防止策を強化している。授業が通常通りの実施となった際、消毒の頻度を増やすなど、より徹底した対策を講じる必要があることから、体制を整えるもの。

■事業概要(上記を踏まえた対応)

① 対象施設

小学校、中学校

② 実施作業

各学校における教室・廊下の消毒作業等

※現状で対応しているものについて、頻度を増やして対応するもの

■予算措置

事業名:一人ひとりの確かな学力・生きる力育成経費(学校課)

予算科目	事業費	財源	
		特定財源	一般財源
学力向上支援者等謝礼	5,553 千円	0 千円	5,553 千円
(合計)	5,553 千円	0 千円	5,553 千円

(4)庁舎等における新型コロナウイルス感染拡大の防止

■事業背景

新型コロナウイルスの感染が市内において拡大している中、現状では庁舎等においてクラスターは発生していないものの、市民や職員の感染が発生していることから、職員・市民間や職員間の感染拡大を防止するため、検温器付アルコールディスペンサーの配置や飛沫感染防止スクリーンの増設など、感染防止対策の強化をおこなうもの。

■事業概要(上記を踏まえた対応)

① 整備物品

検温器付アルコールディスペンサー 156 台

飛沫感染防止スクリーン 1,378 枚 ほか

② 設置場所

本庁舎、各外部施設

■予算措置

事業名:本庁舎管理経費(財産管理課)

予算科目	事業費	財源	
		繰入金※	一般財源
消耗品等	13,796 千円	13,700 千円	96 千円
(合計)	13,796 千円	13,700 千円	96 千円

※ 新型コロナウイルス感染症緊急対策特別交付金積立基金繰入金

(5)中央福祉センターにおける空調機の修繕

■事業背景

中央福祉センターに設置されている空調機の一部が故障しており、使用できない状況であることから、暖房が必要となる冬季までに緊急的な修繕を実施するもの。

■事業概要(上記を踏まえた対応)

① 対象施設

中央福祉センター

② 修繕内容

冷温水発生機の修繕

■予算措置

事業名:福祉センター経費(高齢福祉課)

予算科目	事業費	財源	
		特定財源	一般財源
冷温水発生機修繕料	2,365 千円	0 千円	2,365 千円
(合計)	2,365 千円	0 千円	2,365 千円